

【めざす子どもの姿】

- ・かしこい子
- ・思いやりのある子
- ・たくましい子



学校だより「時習館」
令和3年9月1日(水)
笠間市立笠間小学校
第34号

9月 夏休み明け分散登校とオンライン授業

夏休みが明け久しぶりに学校に子どもたちの声が響いてきました。今年は新型コロナウイルス感染症予防対策のため2つに分散して始まりました。今日の登校の様子は、夏休み前に子どもたちと約束した、「9月の夏休み明けから元気にスタートできるようにする。→朝、元気いっぱいのおいさつができるようにしましょう。」という約束は守られていて大変うれしく思います。このような状況であります学校も感染症予防を最重点目標として取り組んでまいります。保護者の方々にも最大限のご協力をお願いいたします。

全校朝会より

茨城県にも緊急事態宣言が発令されており、今回は2つに分けての分散登校となりました。みなさんやおうちの方も学校生活が始まり、大変心配されているのではないかと思います。何か困ったことがあったら迷わずにおうちの人や学校の先生に相談をしてください。

夏休み中、大変うれしいお知らせがありました。今回賞状の伝達を行いました4年生の田中さんが第20回全国こども陶芸展 in かさま」で出品した作品「わたしの観察日記」が内閣総理大臣賞を受賞し表彰式がありました。笠間小学校としても大変光栄なことです。おめでとうございます。

また、夏休み期間中、オリンピック・パラリンピック等もありテレビ観戦をする中でたくさん感動することがあったと思います。先生は陸上競技800mの準決勝で起きた場面がとても感動をしました。それは、最後のカーブでボツワナ共和国のニジェル・アモス選手とアメリカのアイザイア・ジュエット選手がぶっかり転んでしまうのですが、その後2人は起き上がり、互いに声を掛け合いながらゴールをしたことです。この写真は、転倒して「心が折れた」ジュエットが共に転倒したアモスに手を差し伸べて「行こう」「ゴールをしよう」と声をかけた場面です。普通なら巻き込まれて転倒した選手は相手を責めたくるところです。でもこの二人はお互いに敬意を払い、手を取り合ってゴールをしたのです。勝ち負けや国の違いなどに関係なく二人ともオリンピックを目指し、がんばってきたのです。それだからこそできるお互いを認め合う行動だったと思います。人と人との温かさを感じ胸が熱くなりました。



さて、9月3日(金)からはオンラインでの授業が始まり、誰もが経験したことがなく、不安に感じている人も多いのではないかと思います。また、先生やお友達に会えなくて寂しい、休み時間遊べなかったり給食が食べられなくなったりして残念だと思っている人もいないかと思います。ここでは、新しい学校生活のスタイルでタブレットを使いオンラインでの授業ができるのだとプラス方向に考え、この緊急事態をみんなで乗り越えていきましょう。また、現在、コロナウイルスもデルタ株に置き換わりその感染力は9倍と言われております。また、ウイルス量も1200倍にもなり今まで以上に感染対策をとり、自分の命、家族の命、周りの方の命を守っていかなくてはなりません。マスクをきちんとする。食べるときは話をしない。換気をする。調子がよくないときは休むなど今、私たちができることはしっかり守っていきましょう。

距離は離れていても皆さんとの心はつながっております。まずは、笠間小学校のみんなの力をあわせて、この緊急事態を乗り越えていきましょう。